

2013年度就職状況－就職決定率 98.2%（前年度比1.2ポイントアップ）

2014年3月卒業生は、2011年に日本経済団体連合会が決定した「採用選考に関する企業の倫理憲章」において、採用選考に関する広報活動開始時期が12月1日へと変更されたことにより、2013年度も2か月遅く就職活動が開始されることとなりました。しかし、選考活動の開始時期は従来と変わらず4月1日のままであったことから、過密なスケジュールのなかでの短期決戦型の就職活動が展開されました。

卒業予定者に対する就職環境は、リーマンショックの鎮静化が如実にあらわれ、また異次元の金融緩和策による円安、「アベノミクス」効果による景況感の改善傾向を受け、大卒求人倍率1.28倍といわれる割には企業側の採用意欲の高まりが感じられ、学生側も例年より早い段階での内定獲得傾向が見られました。ただし、採用選考については昨年同様「質重視」の方針に変化はなく、就職活動準備を怠り苦戦を強いられる学生も一定数見られました。

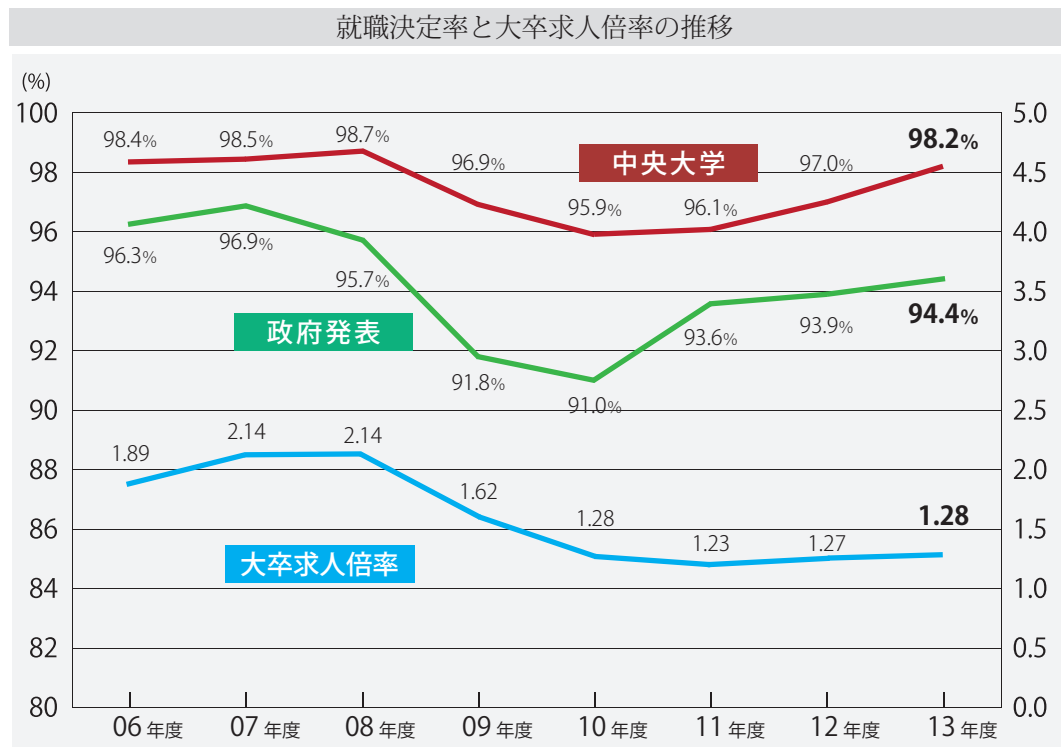
このような状況のなか、本学の就職状況は、表1の通り昨年の就職決定率97.0%から

98.2%に上昇しました。（学部別進路状況については表2参照）男女別でもそれぞれ前年より男子が0.8ポイント、女子は1.9ポイントの上昇という結果が得られました。下記グラフで示したように、本学が政府発表の就職決定率（94.4%）を大きく上回る98.2%という就職決定率をあげることができましたのは、2009年度から実施している4年生対象の就職ガイダンスや合同企業説明会などの支援策をさらに拡大して継続実施したことと、伝統と実績に裏打ちされた本学学生に対する各企業の採用意欲が高かったことによるものと考えています。

なお、この就職決定率は、2013年度（2014年3月）卒業生を対象として、そのうち就職を希望した者を分母とし、就職を果たしたものを分子として算出しています。

<表1> 2013年度（2014年3月卒業生）進路調査による本学学部学生就職決定率

	決定率【就職決定者／就職希望者】		
	男子	女子	男女合計
文理合計	97.8%	98.8%	98.2%
昨年同時期	97.0%	96.9%	97.0%



<表2>学部別進路状況

		学 部							大学院		
		法	経 済	商	文	総合政策	小 計	理 工	合 計	文系	理系
卒業決定者数		1,360	996	1,199	914	279	4,748	824	5,572	162	308
就職希望者	就職決定者										
	企業	721	681	849	576	192	3,019	398	3,417	68	264
	公務員	209	79	53	51	13	405	28	433	18	13
	公立教員	2	6	1	26	1	36	12	48	2	1
	私立教員	0	0	0	18	0	18	11	29	3	4
	計	932	766	903	671	206	3,478	449	3,927	91	282
	無業者	4	12	9	18	4	47	25	72	3	8
	合 計	936	778	912	689	210	3,525	474	3,999	94	290
就職決定率 (%)		99.6	98.5	99.0	97.4	98.1	98.7	94.7	98.2	96.8	97.2
非就職希望者	進学者	187	20	39	42	26	314	305	619	19	9
	留学者	8	4	7	2	5	26	0	26	0	1
	受験準備者	75	37	62	31	12	217	18	235	11	0
	無業者	19	15	31	35	7	107	10	117	27	4
	自営業者	3	5	4	3	0	15	3	18	2	1
	計	292	81	143	113	50	679	336	1,015	59	15
進路不明者		132	137	144	112	19	544	14	558	9	3

OB・OG 交流会の実施

キャリアセンターでは就職支援の一環として、3回にわたり「OB・OG交流会」を実施しました。当交流会は学生と企業で活躍する会員との直接交流の場であり、南甲倶楽部会員をはじめ、多くの学員の皆さまにご協力をいただいています。社会人と接する機会が少ない学生にとって、社会人の生の声を聞けることは大変貴重な機会であり、終了後の学生アンケートでは満足度95%と高い評価を誇っています。



OB・OG交流会 (2013年度実施)

- 11月16日(土)駿河台記念館
 会員:42社49人 学生:157人参加
- 11月30日(土)駿河台記念館
 会員:47社55人 学生:193人参加
- 1月12日(日)多摩キャンパス
 (面接対策セミナー後開催)
 会員:27社27人 学生:279人参加

現在はインターネット等で膨大な情報収集が可能な環境にありますが、キャリアセンターでは将来を考えるうえで、バーチャルな情報だけに頼るのではなく、自分の目と耳と言葉を駆使して情報を集めてほしいと考えています。当交流会はその足がかりを担っており、実際に当交流会を契機にOB・OG訪問を行う学生が多く見られます。

学生の就職活動において、当交流会やOB・OG訪問等、学員の皆さまにご協力をいただく機会が多々ありますが、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。